

「ファイナル・プレス・リリース」より

boot 2017 は成功裏に閉幕

来場者数 244,000 人



デュッセルドルフで毎年開催される国際ブートショー「boot」2017 は 1 月 29 日 (日曜日)、成功をのうちに終了した。今回の boot では、**世界 63 ヶ国から 1,834 社の企業**(前回:1,833 社)が 17 のホール(94,000 m²以上)を利用し、それぞれの新製品を展示発表した。

日本のブランドは、**アイコム、スズキ、トーハツ、ニコン、パナソニック、フルノ、ホンダ、ヤマハとワイズグローバルビジョン**を含む。

世界中の 70 ヶ国から約 24 万 4,000 人のビジターがメッセを訪れた。去年に比べて、3,000 人の減少だった。ビジターの満足度は非常に高く、アンケートによると、ほとんどのビジターは「メッセが自分の期待に応えてくれたので満足した」と回答した。ビジターの大多数は、2017 年にボート、付属用具、また水上スポーツ用品に興味を示した、と回答。外国からの来場者は今年もさらに増加し、特にオランダ、ベルギー、スイス、オーストリア、イタリアとフランスからの来場者が多かった。



製品のトレンドとして、イノベーションと品質は高く評価されていた。また、製品の安全性も注目ポイントであった。特に注目を集めた新しいアトラクションは、2号館に設置していた室内サーフィン用装置「ザ・ウェーブ」だった。合計で9万以上のファン達が1,500選手のサーフィンを見た。



バルクヘッドマガジン 2月9日で、ノアスポーツの桔梗氏は「boot 2017」についてこう書いた：

『デュッセルドルフボートショーの規模は巨大です。（省略）このボートショーのディレクターの話では、デュッセルドルフボートショーは世界で最も重要なプラットフォームであり、優れた販売実績が報告されているとのこと。全17ホールの中でヨットは2ホールでしたが、日本ではめったに見れない60フィートクラスの巨大ヨットがたくさん並んでいる様子に圧倒されました。またそのヨットの外観だけでなくインテリア、価格などをお互い比較しながら見比べられます。』

（出典：<http://bulkhead.jp/>世界最大級のボートショー。写真で巡るデュッセル）

次回 boot は 2018 年 1 月 20 日から 28 日までデュッセルドルフで開催

お問い合わせ先(ドイツ語・英語)：

メッセ・デュッセルドルフ本社

boot 報道担当：

Manuela Preinbergs

日本語での問い合わせ：

(株)メッセ・デュッセルドルフ・
ジャパン

boot 担当：メルケ

〒102-0094

Ulrike Osahon

Tel.: +49 (0)211/4560-542

Fax: +49 (0)211/4560-87-542

E-Mail:

PreinbergsM@messe-duesseldorf.de

www.boot.de

東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニガーデンコート7F

Tel.: 03-5210-9951

Fax: 03-5210-9959

E-Mail:

MDJ@messe-dus.co.jp

<http://boot.messe-dus.co.jp>(日本語)